

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ス シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ イ ン チ ・ マ イ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	教 養 医 科 学	1学期					◎		○				○		◎	○
	メ デ イ カ ル ・ プロフェッショナルISM	通年					◎	◎	◎	◎		○	○		◎	◎
	ア カ デ ミ ッ ク ・ ス キ	1学期					◎	◎	◎	◎					◎	◎
	地 域 医 療 学	1,2学期	○	○			○	○		○			◎	○	◎	◎
	コミュニティヘルス インターンシップ (CHI) (地域医療早期体験実習)	1学期	○	○		○	○		○				◎		◎	◎
	医学情報リテラシー	1学期					○	○	○	◎	○	○			○	
	ス ポ ー ツ 科 学	1,2学期					○	○							○	◎
	総 合 英 語 AI	1学期												◎		
	総 合 英 語 B	1,2学期					○	○						○	◎	○
	医 学 英 語 I	1学期	◎	○	○				○	○	◎	○		○	○	
	数 学	1学期							◎						○	
	人 体 の 物 理 学 I	1学期							◎	○					○	
	生体関連化学基礎	1,2学期	◎						○		○				○	
	物 質 の 科 学	1,2学期	◎						○	○					○	
	細 胞 の 生 物 学 I	1学期	◎							○						
	外 科 入 門	2学期			○	○			○			○				
	早期臨床体験実習	2学期					◎		◎				○			
	総 合 英 語 AII	2学期												◎		
	人 体 の 物 理 学 II	2学期							◎	○					○	

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ン チ ・ マ イ ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学習に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	細胞の生物学II	2学期	◎						○							
	物理学実験	2学期						◎	○						○	
	化学実験	2学期	○		○		◎		○	○	○				○	
	生物学実習	2学期	◎													
	統計学	2,3学期						◎	○	○	○				○	
	総合英語AIII	3学期											◎			
	解剖学概論	3学期	◎	○				○	○	○	○					
	骨学・筋学	3学期	◎					○	○							
	組織学総論	3学期	◎	○					○							
	人体の発生学	3学期	◎	○					○							
	生理学総論と生体の情報	3学期	◎	○				○	○	○						
	生体分子とその代謝	3学期	◎					○	○	○	○					
	消化吸収と栄養の代謝	3学期	◎	◎				◎	◎	◎	◎				◎	◎
人文自然選択Ⅰ	医学分子生物学	3学期	◎	◎				◎	○	◎	◎		○			
	生化学実習	3学期	◎					◎	◎	◎	◎					
	社会思想史	1学期						○	○				○		◎	◎
	異文化間コミュニケーション	1学期					○	○					○		◎	○
	イギリス文学概観① 古英語文学からシェイクスピアまで	1学期					○	○		○			○		◎	○
	異文化理解 ヨーロッパ編	1学期						○	○	◎			○		◎	○

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフィールシナリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
人文自然選択Ⅰ	文章の論理	1学期							◎						○	
	異文化理解編 一 中国	1学期					◎		○				○		◎	◎
	文学	1学期					○	○	○						◎	○
	生命と死を考える	1学期							○	○			○			◎
	医療人類学入門	1学期					◎	○					○		○	◎
	生命倫理と社会の課題を考えよう	1学期					◎						○		○	◎
	名画で鍛える診療のエッセンス	1学期	○		○		○	◎	○						◎	◎
	医用材料学	1学期					○	○		○	○				○	○
	化学実験の基本	1学期							◎	○						
	薬用・有毒植物図鑑をつくろう！	1学期								○					◎	○
	発生・生殖生物学	1学期							○	○					◎	◎
	健康科学（スポーツテレーピング実践）	1学期							◎	○					○	
	アダプテッド・スポーツ	1学期					○	○	○				○		○	◎
	3Dプリンタを使ってみよう	1学期								◎	○	○				
	がん細胞を扱おう	1学期	◎	○					◎	◎	◎	◎				
	脳内認知機能・統合失調症研究法	1学期	◎	◎					◎	○	◎	◎				
	医学・生物学研究のためのプロレゴメナ	1学期					○		○	○	○	◎		○	○	○

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ン チ ・ マ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学習に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
人 文 自 然 選 択 Ⅱ	医 療 と 人 権	2学期							○	○			○	○	◎	◎
	異 文 化 間 コミュニケーション	2学期					○	○						○	◎	○
	イギリス文学概観② ゴシック小説と女性作家	2学期					○	○		○				○	◎	○
	第 二 言 語 習 得 論	2学期								○				○	◎	○
	異文化理解－ヨーロッパ編 旅、文化、歴史	2学期						○	○	◎				○	○	◎
	失 敗 の 考 察	2学期					○		◎		○		◎			
	中 国 語 一 音 読	2学期						○	○	○				○	○	○
	文 学	2学期					○	○	○	○					◎	○
	生命と死を考える	2学期								○	○		○			◎
	発 達 心 理 学	2学期					○	○							○	◎
	人を対象とする医学 研究の倫理を考えよう	2学期					◎					○	○		○	◎
	最後の日々と時間	2学期					○			○	○	◎				
	名画で鍛える診療 の エ ッ セ ン ス	2学期	○		○		○	◎	○						◎	◎
	医 用 材 料 学	2学期					○	○		○	○				○	○
	化 学 実 験 の 基 本	2学期							◎	○						
	薬用・有毒植物図鑑 をつくらう！	2学期								○					◎	○

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ン チ ・ マ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
人 文 自 然 選 択 Ⅱ	発生・生殖生物学	2学期							○	○					◎	◎
	数学的思考法を学ぶ	2学期							◎						○	
	健康科学（スポーツテピング実践）	2学期							◎	○					○	
	がん細胞を扱おう	2学期	◎	○					◎	◎	◎	◎				
	遺伝子工学入門：光る大腸菌を作ろう！	2学期								◎	○					
	がんの免疫療法について学ぶ	2学期							○	○	◎	◎	○		○	○
	国際感染症学入門	2学期		○									○	◎	○	
人 文 自 然 選 択 Ⅲ	ファクトチェックとは何か	3学期							○	○					◎	◎
	異文化間コミュニケーション	3学期					○	○					○		◎	○
	イギリス文学概観③ ディケンズ、推理小説、 イシグロ	3学期					○	○		○			○		◎	○
	医学の中の語 ドイッ	3学期					◎		○						○	
	異文化理解一 ヨーロッパ編	3学期						○	○	◎			○		◎	○
	文章の論理	3学期						◎							○	
	異文化理解一 中国編	3学期						◎	○	○			◎		◎	◎
	文 学	3学期					○	○	○	○					◎	○

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プラットフォーム シヨナリズム		能動的学修能力		リサーチ・マインド		社会的視野		人間性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
人文自然選択Ⅲ	生命と死を考える	3学期							○	○		○				◎
	発達心理学	3学期					○	○							○	◎
	医療倫理と決断の悩ましさを考えよう	3学期					◎					○			○	◎
	名画で鍛える診療のエッセンス	3学期	○		○		○	◎	○						◎	◎
	Rによるデータ分析・プログラミング入門	3学期								◎	○	○		○	○	
	放射線の基礎と医療	3学期				○		○	◎	○					○	○
	医用材料学	3学期					○	○		○	○				○	○
	化学実験の基本	3学期							◎	○						
	薬用・有毒植物図鑑をつくろう！	3学期								○					◎	○
	発生・生殖生物学	3学期							○	○					◎	◎
	数学的思考法を学ぶ	3学期							◎						○	
語学選択Ⅲ	スポーツ医学について学ぶ	3学期							◎		○		○		○	
	工学発展と医学研究	3学期					○			○	○	◎				
	ドイツ語	通年							○	○			◎		○	◎
	フランス語	通年							○	○			◎		○	◎
	中国語	通年							○	○			◎		○	◎
択	ロシア語	通年							○	○			◎		○	◎

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ン チ ・ マ イ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自由 選択	医学研究室配属 I	通年	○	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習 I		○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	◎		◎	◎	◎
	化 学（基 礎）		○						◎	○						
	病 理 学 演 習		◎	◎			◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	細胞の生物学I勉強会		◎							○						
	細胞の生物学II勉強会		◎							○						
	読 書 会						◎	○	◎	◎					◎	○
	医 療 の 歴 史 (性・内視鏡・がん)		◎				○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎
	医療人類学入門 ゼミ:コロナ禍と 出会い直す						◎	○					○		○	◎
	ドイツの学生と 共に学ぶ医学								○	○	○		◎	○	○	○
	最先端分子医学 研究入門:楽しく 実験, 学会発表!		○	○					○	◎	◎	◎	◎	○	○	○

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ス シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ イ マ イ ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を实践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を实践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	英 語 II L	通年													○	◎
	英 語 II R	通年					○	○						○	◎	○
	医 学 英 語 II	通年	◎	○	○				○	○	◎	○		○	○	
	解 剖 学 各 論 I	1学期	◎	○	○		◎		◎	○					○	
	解 剖 学 実 習	1学期	◎	○			◎	◎			○				○	
	解 剖 学 各 論 II	1学期	◎	○						○						
	組 織 学 実 習	1学期	◎	○						○						
	植物性機能生理学Ⅰ	1学期	◎	○					○	○	○					
	植物性機能生理学Ⅱ	1学期	◎	○					○	○	○					
	生 化 学 実 習	1学期	◎						◎	◎	◎	◎				
	神 経 生 理 学	2学期	◎	○					○	○	○					
	神 経 解 剖 学	2学期	◎	○						○						
	脳 実 習	2学期	◎	○						○						

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プラットフォーム シヨナリズム		能動的学修能力		リサーチ・ サイン		社会的視野		人間性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	生理学実習	2学期	◎				○	○	○	○	○					
	薬理学	2学期	○	◎			○	◎	○	○	◎		○	○	○	
	微生物学	3学期	◎	○		○		○	○	○			○	○		
	微生物学実習	3学期	○	◎	○	○		○	○	○		○	○	○	○	
	病理学総論・総論実習	3学期	◎	◎				○	○	○	○					
	メディカル・プロフェッショナリズムⅡ	3学期					◎	◎	○	◎			○	○	◎	◎
	医学研究実習（ベータシク）	3学期	◎	◎			○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○
	基礎統合演習	3学期	◎	◎					◎	◎	○	○			○	○
	医動物学	3学期	◎	○												
	医動物学実習	3学期	◎	○												
	免疫学	3学期	◎	○						○	○	○				
	薬理学実習	2,3学期		◎				◎								

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プラットフォーム シヨナリズム		能動的学修能力		リサーチ・ マイン		社会的視野		人間性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らが医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自由選択	医学研究室配属Ⅱ	通年	○	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習Ⅱ		○	○	○		◎	◎	○	○			◎		◎	◎
	ステップアップ ロシア語								○					◎	○	◎
	初級ウクライナ語								○					◎	○	◎
	ステップアップ 中国語							○	○	○				◎	◎	◎
	アニョンハセヨ！ 韓国語							○	○	○				○	○	○
	病理学演習		◎	◎			◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	医療の歴史 (性・内視鏡・がん)		◎				○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎
	医療人類学入門 ミコロナ禍と 出会い直す						◎	○					○		○	◎
	ドイツの学生と 共に学ぶ医学								○	○	○			◎	○	○
	最先端分子医学 研究入門：楽しく 実験，学会発表！		○	○					○	◎	◎	◎		◎	○	○

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ イ ン チ ・ マ イ ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	メ デ イ カ ル ・ プロフェッショナルリズムⅢ	1学期					◎	◎	○	◎	○	○	○		◎	◎
	医 学 英 語 Ⅲ	1学期	◎	○	○			◎	○	○	○	○		○	○	
	消 化 器	1学期	◎	◎	◎	○			○	○						
	循 環 器	1学期				○	◎						○	○	○	◎
	一 般 外 科	1学期	○	◎	◎				○		○				○	
	衛 生 学	1学期		○		○							○	○	◎	
	放 射 線 医 学	1学期	◎	○	◎	○	○	○			○					
	検 査 医 学	1学期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	眼 ・ 視 覚	1学期		◎		○							○		○	
	形 成 ・ 再 建	1学期		◎			○									
	皮 膚	1学期	○			○	○	○		○		○				○
	救 急 医 学	1学期		◎	○											
	精 神 医 学	1学期	○	○			○	◎							○	○
	総 合 診 療	1学期	◎		◎		○	◎	○				○	○	○	○
	呼 吸 器	2学期	◎	◎					○	○						
	脳 ・ 神 経	2学期	◎	○							○					

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ マ サイ ー ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	内 分 泌・代 謝	2学期		○			○		◎			○	○			
	耳 鼻・咽 喉・口 腔	2学期	◎				○	○	○		○				○	
	ア ド バ ン ス ド コ ミ ュ ニ テ ィ ヘ ル ス イ ン タ ー ン シ ッ プ (ACHI)	2学期					○	○	○	○			○		○	○
	衛 生 学 実 習	3学期		○		○				○					◎	
	血 液・造 血 器	3学期	◎	◎					○	○	○	○				
	産 科 婦 人 科 学	3学期		◎	○				○	○						
	腎・泌 尿 器	3学期	◎									○			○	○
	小 児 医 学	3学期	○	◎					○		○					
	運 動 器	3学期	◎	◎			○	○	○	○						
	麻 酔	3学期	◎				○	○			○	◎				
	ア レ ル ギ ー・膠 原 病	3学期	◎	◎	○				○	○	○					
	感 染 症	3学期	○	○	○	◎					○		○			
	病 理 学 各 論 I	1学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病 理 学 各 論 II	2学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病 理 学 各 論 III	3学期	◎	○		○			○	○					○	○
	病 理 学 各 論 実 習	通年	◎	○					○	○	○				○	○

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ー ン チ ・ マ イ ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性		
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	
自 由 選 択	医学研究室配属Ⅲ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	地域包括医療実習Ⅲ		○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	◎		◎	◎	◎	
	ステップアップ ロシア語								○				◎	○	◎	◎	
	初級ウクライナ語								○				◎	○	◎	◎	
	ステップアップ 中国語						○	○	○			◎	◎	◎	◎	◎	
	アニョンハセヨ！ 韓国語						○	○	○			○	○	○	○	○	
	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	
	消化器内視鏡学		○	◎	○				○	○	○	○					
	遺伝医療に必要な 確率計算演習		◎		○		○			○					○		
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎					
	医療の歴史 (性・内視鏡・がん)		◎				○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎
	病理診断実践演習		◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○	
	医療人類学入門 ゼミ:コロナ禍と 出会い直す						◎	○				○			○	◎	
ドイツの学生と 共に学ぶ医学								○	○	○		◎	○	○	○		

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ン チ ・ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学習に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	メ デ ィ カ ル ・ プロフェッショナルリズムⅣ	前期					◎	◎	○	○					○	
	医 学 英 語 Ⅳ	前期							○	○	○	○		◎		
	公 衆 衛 生 学	前期		◎			○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	法 医 学	前期	◎	○	○		○		○				◎		○	○
	老 年 医 学	前期		◎				○							○	○
	緩 和 ケ ア	前期		◎				○					○		○	○
	東 洋 医 学	前期	○	○	○				○	○	○	○				
	公衆衛生学実習	前期					○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	法 医 学 実 習	前期	◎		○	◎			○		○		◎			
	医療の社会連携・実装科学	前期		○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	臨 床 腫 瘍 学	前期	○	◎					◎	○	○					
	症 候 学	前期	◎	◎					○	○	○				○	○
	医 事 法 制	前期					◎	○	○				◎		◎	○
	遺 伝 子 と 医 学	前期	◎	◎	◎		○	○		○			○			
	地 域 保 健 実 習	後期					○	○	○	○			◎		○	○
	臨 床 基 本 実 習	後期			◎	◎	◎	◎							○	○
	医学研究実習（メデikal）	通年	○	○			○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○

区 分	授 業 科 目	学 期	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ッ シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ン チ ・ マ イ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学習に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自 由 選 択	医学研究室配属Ⅳ	通年	○	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	地域包括医療実習Ⅳ		○	○	○		◎	◎	○	○		◎		◎	◎	◎
	ステップアップ ロシア語								○				◎	○	◎	◎
	初級ウクライナ語								○				◎	○	◎	◎
	ステップアップ 中国語						○		○	○			◎	◎	◎	◎
	アニョンハセヨ！ 韓国語						○		○	○			○	○	○	○
	病理学演習		◎	◎			◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	生理学・薬理学 CBT対策補習		◎	◎					○	○						
	消化器内視鏡学		○	◎	○				○	○	○	○				
	臨床免疫学入門			◎	○						○	○	○			
	遺伝医療に必要な 確率計算演習		◎		○		○			○					○	
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎				
	医療の歴史 (性・内視鏡・がん)		◎				○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎
	病理診断実践演習		◎	◎	○		○	○	◎	◎	○			○	○	○
	医療人類学入門 ミコロナ禍と 出会い直す						◎	○					○		○	◎
	ドイツの学生と 共に学ぶ医学								○	○	○		◎	○	○	○

区分	授業科目	学期	医学知識		臨床能力		プロフェッショナルリズム		能動的学修能力		リサーチ・デザイン		社会的視野		人間性	
			種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らが医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修 自由 選択 択	メディカル・プロフェッショナルリズムⅤ	3学期				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎
	医学研究室配属Ⅴ	通年	○	○				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ステップアップ ロシアン語								○				◎	○	◎	◎
	初級ウクライナ語								○				◎	○	◎	◎
	ステップアップ 中国語							○	○	○			◎	◎	◎	◎
	アニョンハセヨ！ 韓国語							○	○	○			○	○	○	○
	病理学演習		◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	消化器内視鏡学		○	◎	○				○	○	○	○				
	高齢者肺癌に対する サポート介入を考える						◎								○	
	スポーツ整形外科		○	◎					○		○	◎				
	医療の歴史 (性・内視鏡・がん)		◎				○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎
	病理診断実践演習		◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○
	医療人類学入門 ゼミ：コロナ禍と 出会い直す						◎	○					○		○	◎

授 業 科 目	分 野 名	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能動的学修能力		リ サ イ ン チ ・ マ イ ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
		種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らが医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
必修	メ デ イ カ ル ・ プ ロ フ ェ ッ シ ョ ナ リ ズ ム VI				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎
カテ ゴ リ I	循 環 器 疾 患	◎	◎			○	○		◎					○	○
	呼 吸 器 疾 患	◎	◎						○	○					
	消 化 器 系 疾 患	◎	◎	◎				○	○						
	血 液 ・ 造 血 器 疾 患	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎				
カテ ゴ リ II	アレルギー・膠原病疾患	◎	◎	○											
	精 神 ・ 神 経 系 疾 患	○	○			○	◎							○	○
	内 分 泌 ・ 代 謝 疾 患		○			○		◎			○	○			
	産 科 婦 人 科 疾 患	○	◎	○											
カテ ゴ リ III	成 長 ・ 発 達 疾 患	○	◎					○	○						
	感 染 症 ・ 感 染 制 御	◎	○	○	○			○	○	○		○		○	
	運 動 器 疾 患	◎	◎			○	○	○	○						
	救 急 医 学		◎	○											
	腎 ・ 泌 尿 器 疾 患					◎	○							○	○
	総 合 診 療	◎	○	○	○	◎	◎	○		○	○				◎
	皮 膚 ・ 頭 頸 部 疾 患		○			○	○	○			○			○	
	公 衆 衛 生		◎			○	○	○	○			○	○	◎	○

授 業 科 目	分 野 名	医 学 知 識		臨 床 能 力		プ ロ フ ェ ッ ム シ ョ ナ リ ズ ム		能 動 的 学 修 能 力		リ サ イ ン チ ・ マ イ ン ド		社 会 的 視 野		人 間 性	
		種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学習に努めることができる。	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。
自 由	医 学 研 究 室 配 属 VI	○	○		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ス テ ッ プ ア ッ プ 中 国 語						○	○	○				◎	◎	◎
	ア ニ ョ ン ハ セ ヨ ! 韓 国 語						○	○	○				○	○	○
	病 理 学 演 習	◎	◎				◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎
	ス ポ ー ツ 整 形 外 科	○	◎					○		○	◎				
	病 理 診 断 実 践 演 習	◎	◎		○	○	○	◎	◎	○				○	○
	医 療 人 類 学 入 門 ゼ ミ : コ ロ ナ 禍 と 出 会 い 直 す					◎	○					○		○	◎